

給水と水質、水域、魚類、野生生物、送水、地下水の持続可能性と貯水のためのプロジェクトの資金調達のための公債発行を許可する。発起法規。

本法案の文面は州務長官のウェブサイトをご覧ください。

<http://voterguide.sos.ca.gov>

- 多様なインフラプロジェクトに融資するための州の一般保証公債\$88億7700万発行の権限を与える。\$30億3000万は安全な飲み水と水質の保護、\$28億9500万は水域と漁業の改善、\$9億4000万は生息環境の保護、\$8億5500万は送水設備の改善、\$6億8500万は地下水の持続可能性維持と貯水、\$4億7200万は地表水の貯水／ダム修理に充てられる。
- 公債の償還には一般財源から資金を充当する。
- 特定のプロジェクトに州以外の資金源からの見合い金(補助金)を義務付け、不利な条件下にあるコミュニティを優遇する。

立法アナリストによる州および地方政府への予測される最終的な財務的影響の要約:

- 州の公債償還コストが増加し、今後40年間にわたり年平均\$4億3000万となる。
- 地方政府の節約は、今後数十年にわたり年平均数億ドルになると推定される。

州公債経費見積もり

承認済みの新たな借入	\$89億
年平均公債返済費	\$4億3000万
推定返済期間	40年
返済原資	一般財源

立法アナリストによる分析

背景

California州には、複数の水源がある。飲料水と農業用水のほとんどは、雨や雪解け水を水源としている。雨や雪は小川や河川に流れ、その多くが山を源流としており、これらの小川や河川が流れ始める地帯は「流域」と呼ばれる。California州は水を蓄え、州全域に送水するために、ダムや貯水池、運河を建設している。特に降水量や積雪量が少ない年には、地下からも水をくみ上げて(「地下水」)いる。割合は少ないものの、家庭や企業から下水道に排出される廃水の浄化や再利用(「水の再利用」)など、他の水源もある。

水に関係するほとんどの支出は、地方政府が負担している。地方政府機関(通常、水域、市、郡)は、飲料水や農業用水を提供し、洪水を防止する大多数

のプロジェクトに資金を投入しており、このような水関連活動に毎年\$250億ほど拠出している。住民が上下水道料金を支払う際に、この支出の大部分を負担している。

州は、環境プロジェクトはもちろんのこと、水に関するプロジェクトにも資金を提供しており、水に関するプロジェクトの費用の一部を地方政府機関に助成、融資している。また、魚類、鳥類、その他の野生動物の生息地の保護を含む、自然環境改善に向けたプロジェクトにも資金を投入している。環境プロジェクトについては、多くの場合、地方政府ではなく州が資金の大半を負担している。州政府が環境プロジェクトを実施することもあれば、地方政府や非営利団体、その他の組織にプロジェクトのための助成金を支給することもある。近年、州は水と環境プロジェク

立法アナリストによる分析

続き

トの支援に年間約\$40億を費やしている。

これらのプロジェクトの州の財源は、一般的に、有権者が承認した公債である。州は、主に一般保証(GO)公債と州の一般財源を使用して、水と環境のプロジェクトに拠出している。GO公債は、資金を借り入れるための方法である。有権者は、州に対して公債を投資家に売却する許可を与え、州はそれをプロジェクトの「前払い」資金として使用する。州は、一般財源(教育、刑務所、健康管理、その他のサービスにも支払う州の主な運営勘定)から、長期間にわたって、利息を付けて投資家に償還する(州の公債の利用についての詳細は、本ガイドの「州の債権債務の概要」を参照のこと。)

2000年以降、有権者は、州全体の選挙において、水と環境に関するさまざまなプロジェクトの支払いのために\$310億のGO公債を承認している。2018年6月現在、この金額の約三分之一を新しいプロジェクトに利用できる。これには、2018年6月、提案68により有権者に承認された\$40億が含まれる。

- 流域の土地(\$25億)。**このカテゴリでは、森林、牧草地、湿地、河川付近を含む、流域の土地の状況を改善するためのプロジェクトに資金を充当する。資金の提供を受けたプロジェクトは、これらの土地を水源とする水の供給量と水質を保護し、改善する必要がある。これらのプロジェクトの多くは、魚や野生動物の生息地の改善や森林火災の抑制など、環境面でのメリットもある。この資金カテゴリには、州の特定地域における支出額など、特別な要件を備えた約50のサブカテゴリが含まれる。たとえば、この提案では、Sierra Nevada Mountainsの森林に\$2億5000万、Southern CaliforniaのSalton Seaに\$2億の資金を提供する。
- 水の供給(21億ドル)。**この資金は、人が利用できる水の量を増やすプロジェクトのためのものである。これには、雨水の回収と浄化(\$5億5000万)、飲料水の浄化(\$5億)、飲料水

提案

水と環境のプロジェクトに\$89億の公債。この提案により、州は、水と環境に関するさまざまなプロジェクトに対して\$89億の新規GO公債を発行することができるようになる。これらの公債は、図1に要約するように、六つの大カテゴリーに分類される。

そのカテゴリには、州の特定の地域やプロジェクトなどにどの程度の拠出を行うかについての約100のサブカテゴリが含まれる。支出に関する大カテゴリーの提案は、次のとおりである。

図1

提案3公債ファンドの使用

(単位:百万ドル)

カテゴリ	主な活動	金額
流域の土地	水量と水質を改善するため、州の指定区域にある流域の土地の健康を保護、復元、改善する。	\$2,495
水の供給	飲料水、廃水処理、水のリサイクル、雨水の収集と浄化、水の保全を改善、向上する。	2,130
魚と野生動物の生息地	川や湿地をより自然な状態に戻すなど、魚や野生動物の生息地を改善する。	1,440
水施設の改善	既存のダム、運河、貯水池とを結ぶ通路を築き、改修する。	1,227
地下水	地下水の浄化、再貯蔵、管理を行う。	1,085
治水	氾濫原の拡大や貯水池の改修などにより、洪水のリスクを軽減する。	500
合計		\$8,877

立法アナリストによる分析

続き

(\$5億) 水のリサイクルのための資金(\$4億)が含まれる。水の使用量を抑える水の保全活動のためにも資金(\$4億)を提供する。これには、流水量の少ないトイレを設置したり、芝生を少ない水でも育つ植物に植え替える際にかかる費用の一部の負担を含む。

- **魚と野生動物の生息地(\$14億)**。このカテゴリでは、魚と野生動物の生息地を改善するプロジェクトに資金を提供する。湿地や河川に流れる水の量を増やすプロジェクトや未開発の土地を購入して自然を保つプロジェクトなどが含まれる。この提案では、Central Valleyの在来魚(\$4億)、サケとニジマス(\$3億)、渡り鳥(\$2億8000万)を含む特定種を保護するプロジェクトの資金の一部が対象となる。
- **水施設の改善(\$12億)**。この資金は、州の特定地域の水の利用を改善する四つの特別プロジェクトのためのものである。これらのプロジェクトには、(1) Central Valleyの連邦所有のMaderaとFriant-Kern運河の改修(\$7億5000万)、(2) San Francisco Bay地区の貯水池とコミュニティを結ぶ運河の建設とその他のプロジェクト(\$2億5000万)、(3) Butte群の州所有のOrovilleダム改修(\$2億)、(4) Solano群とNapa群に水を供給するNorth Bay Aqueductの計画変更(\$500万)が含まれる。
- **地下水(\$11億)**。このカテゴリでは、将来的に地下水が使用できるよう、地下水の貯蔵に関連するプロジェクトに資金を充当する。これには、塩分を除去することで地下水を浄化し、より使用しやすくするための活動(\$4億)が含まれる。資金は、水を地下に浸透させ、将来使用できるようにするためのプロジェクト(「地下水の再貯蔵」)にも使用される。
- **洪水保護(\$5億)**。この資金は、洪水のリスクを軽減するプロジェクトを対象とする。これら

のプロジェクトには、氾濫原の拡大(大きな損害を及ぼすことなく洪水を拡散できる地域の提供)と貯水池の改修が含まれる。これらのプロジェクトの中には、魚や野生動物の生息地の改善、給水量の増加、レクリエーション機会の改善など、その他の利益をもたらすものもある。この資金の一部は、Central Valley(\$2億)やSan Francisco Bay Area(\$2億)を含む州の特定地域のプログラムを対象とする。

資金の多くは助成金を通じて分配する。この提案では、十を超える州政府に資金を提供する。この提案では、ほとんどの水および環境債券とは異なる、債券基金を部門に引き続き充当する。これはつまり、州議会は基金を毎年の州予算に支出しないことを意味する。代わりに、部門は支出する用意ができると自動的に基金を受領する。部門は基金のある程度をプロジェクト自体を実施するために支出する。しかし、基金のほとんどすべては助成金として特定のプロジェクト向けに地方政府機関、原住民部族、非営利団体、および民間の水企業に付与される。複数の基金サブカテゴリでは、特に水供給の増加と保護関連のサブカテゴリでは、助成金受領者は、助成金資金を\$1受領するごとに少なくとも\$1を地域基金に提供する必要がある。

「条件不利コミュニティへの基金提供」提案には条件不利コミュニティを支援する複数の要件がある(平均所得が低い)。この提案は、小数のサブカテゴリにおいては、基金を条件不利コミュニティに利益をもたらすプロジェクトに支出するように求めている。また、多くの場合、助成金を受領する条件不利コミュニティは上述の地域による費用負担を支払う必要はない。

水プロジェクトにグリーンハウスガス排出(GHG)基金を提供。\$89億の公債とは別に、この提案は州によるGHG関連の既存基金の支出方法も変更する。州は、Californiaで排出されるGHGの量を制限

立法アナリストによる分析

続き

することで、地球温暖化を制限する法律を可決した。これらの試みには、企業や政府機関にGHGを排出するための権限を州から購入することを求める「キャップ・アンド・トレード」プログラムがある。このプログラムにより、複数の水機関ではポンプや水処理プラントなどの配水システムの一部分を稼働するために電気代が高くなった。この提案では、排出権の販売から州が得た資金の一部を、州の水資源局、南California都市圏水域、Contra Costa水域、San LuisとDelta Mendota水機関の、四つの水機関に提供することを求めている。基金の金額は、GHGを削減するための州プログラムに伴う各機関が負う追加の電気代と等しい金額である。上記費用は合計で年間\$10億ド予想される。(直近では、州は排出権の売上から\$30億を受け取っている。)当局はこの活動から受領する基金を、水保全プログラムに使用する必要がある。このようにして、州は上記基金をその他の活動に使用できなくなる。

財務的影響

州の公債費用。この提案により、追加のGO公債を投資家に販売することで、州は\$89億を借り入れる。投資家には州の一般基金税収を利用して利息と合わせた金額を返金する。これらの公債にかかる費用は、売り出し時点での利率や、売り出しのタイミング、返済期間など、さまざまな要因に左右される。この債権を返済するための納税者の支出は合計\$173億となり、元金(\$89億)および利子(\$84億)を清算する。これにより今後**40年間**、州の平均費用は年平均**\$4億30万**増加する。この金額は、州の現在の一般基金予算の約1パーセントに相当する。

プロジェクトを完了させる地方の費用と貯蓄。公債ファンドの多くは、地方政府プロジェクトに使用さ

れる。地方プロジェクトへの州の公債ファンドの提供は、地方の基金がいくらプロジェクトに使われているか、ということに影響を与える。多くの場合、州の基金は地方の支出を削減する。例えば、州の公債ファンドが、地方政府がプロジェクトで使用した金銭に交換した場合、これが生じる。

しかし、場合によっては、州の公債ファンドが地方政府によるプロジェクトにおける合計支出で増加することがある。例えば、地方政府は、公債ファンドが利用できなかった場合よりも、追加、または相当大きなプロジェクトを作ることを選択する場合もある。公債が費用分担を必要とするような、他のプロジェクトにおいて、地方政府は追加費用を負担する。

結局、この提案は公債により資金提供されたプロジェクトを完了するために、地方政府の節約となることが予測される。こうした節約は、おそらく、今後数十年にわたり年平均数百万ドルになると推定される。正確な金額は、どのプロジェクトを地方政府が選択するか、さらに合計プロジェクト費用の費用分担に左右される。

<http://www.sos.ca.gov/campaign-lobbying/cal-access-resources/measure-contributions/2018-ballot-measure-contribution-totals/>で、主にこの法案を支持または反対するために構成された委員会のリストをご覧ください。委員会に対する政治献金の上位10者は、<http://www.fppc.ca.gov/transparency/top-contributors/nov-18-gen.html>で確認できます。

州法案文書の完全なコピーが必要な場合は、州務長官の電話 (800) 339-2865 か、vigfeedback@sos.ca.govまでEメールでご連絡ください。コピーを無料で送付します。